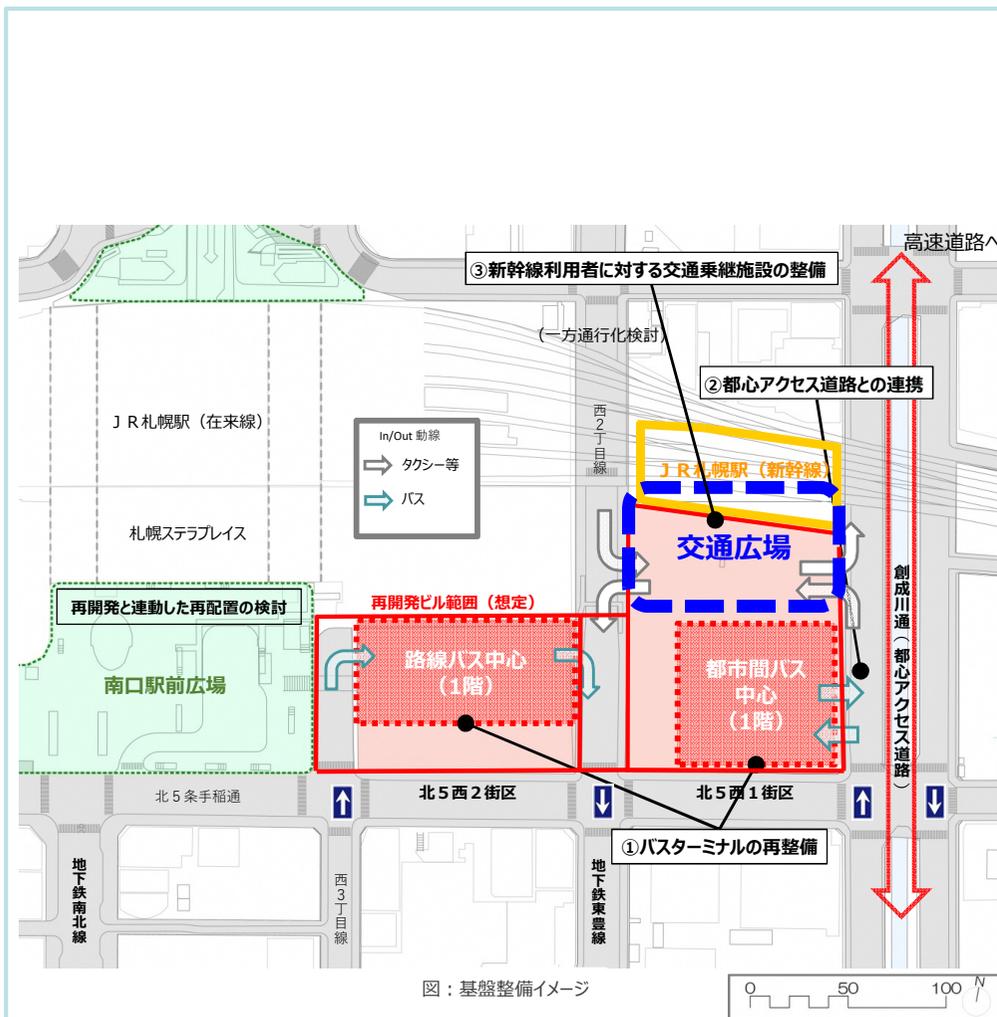


検討事項の確認

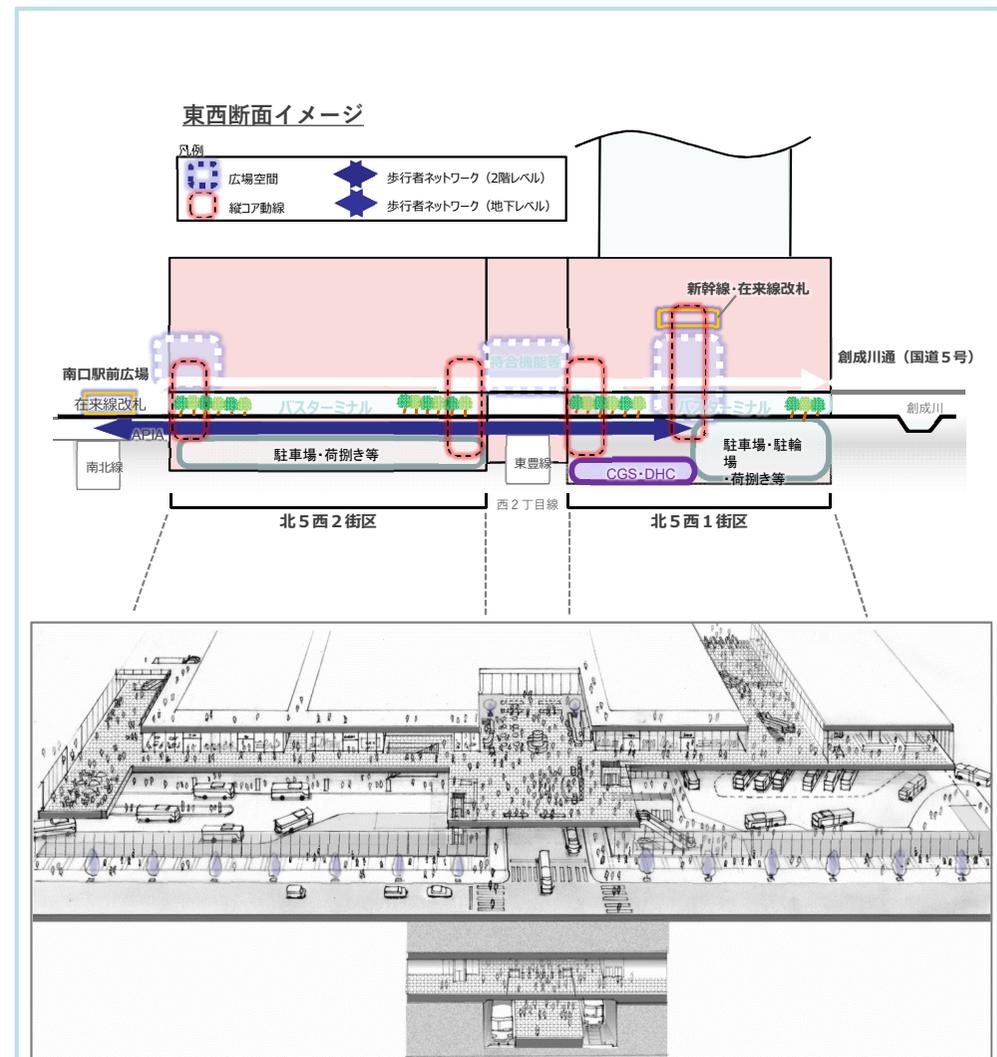
- 整備の方針
- 今後の検討課題とスケジュール
- 基本コンセプトと必要な機能
- 第3回検討会の主な指摘と対応
- 検討項目と検討スケジュール
- 具体化する要素と検討項目

(参考) 札幌駅交通ターミナルの施設配置イメージ

平面



東西断面



※「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想」(R1.10.31_札幌市)、「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合設立のお知らせ」(R1.11.11_札幌市・JR北海道)より作成
 ※「新幹線札幌駅について」(R2.1.16_JR北海道)の計画変更案(新幹線改札口、交通広場)を反映

整備の方向性・コンセプト

1. 北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備

・北海道新幹線札幌駅と直結するとともに、駅周辺に分散する都市間・都市内バス乗降場等の集約や、都心アクセス道路との連携強化により、モーダルコネク機能の強化を図ります。これにより、全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支えます。

2. 新たなバスターミナルは、あわせて、以下の機能強化についても検討を進めます**(1) 観光機能の強化**

・わかりやすい案内やシームレスな移動を実現し、利用者の利便性・回遊性を向上させ、ICTを活用した観光MaaSも導入しながら、インバウンドを含めた観光機能の強化を図ります。

(2) 防災機能の強化

・帰宅困難者の受け入れ空間や災害時の情報提供機能を確保するなど、防災機能の強化を図ります。

(3) 多様なモビリティとの連携

・シェアサイクルや新たなモビリティ等、多様な交通と連携し、移動利便性や回遊性向上を図ります。

3. 官民連携による計画の具体化

・本整備方針に基づき、民間事業者等の知見を広く取り入れながら、官民連携で計画の具体化を図ります。

今後の検討課題とスケジュール

《今後の検討課題》

①施設計画の検討【今回(詳細検討)】

札幌駅周辺の価値を高める道都の「顔」としてのトータルデザイン
北海道新幹線札幌延伸以降の時代の変化にも柔軟に対応する構造と配置計画

②機能・運営の検討【今回(詳細検討)】※運営検討の詳細は次回以降を予定

交通結節点・観光・防災の各機能の強化
多様なモビリティとの連携
運営・維持管理の委託を前提とした「稼げる」空間の実現

③事業制度の検討【今後検討】

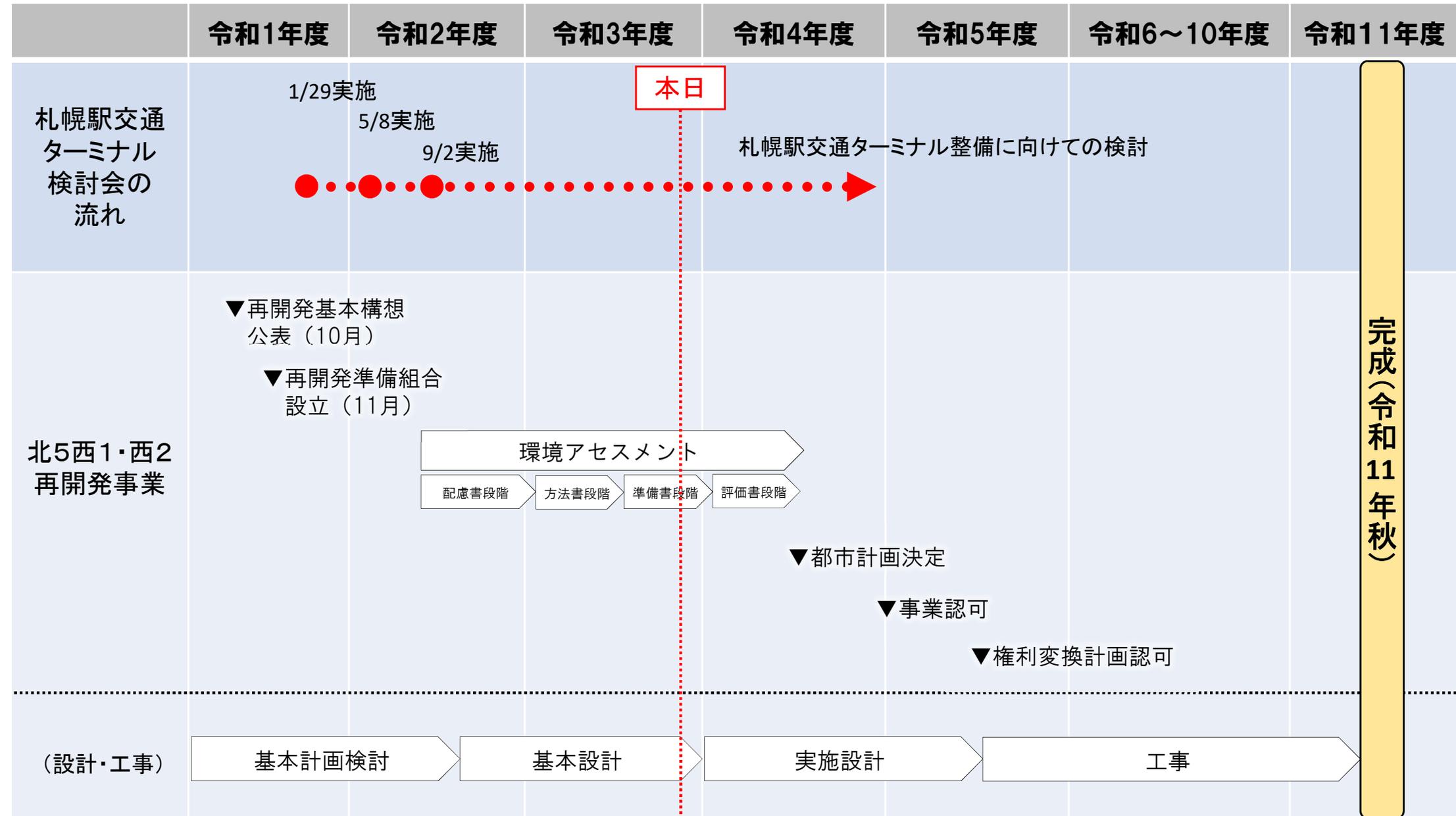
都市計画法や道路法をはじめとした法令上の位置づけの整理
将来的な運営・維持管理を念頭に収益を考慮した事業スキーム

④施工計画の検討【今後検討】

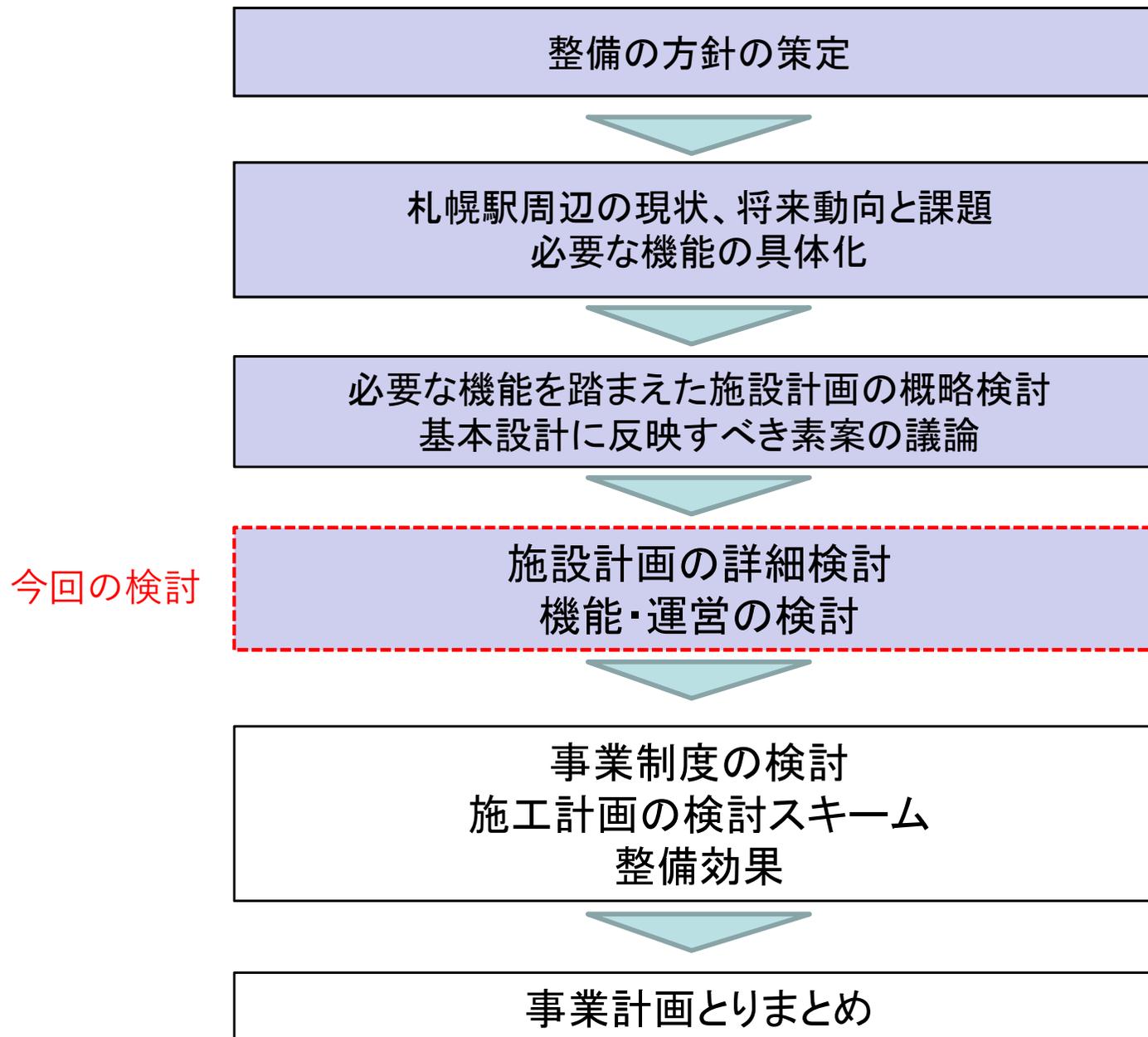
北海道新幹線札幌延伸や招致活動予定の札幌冬季五輪等を見据えた施工スケジュール
施工期間中のバス停配置等、札幌駅周辺への影響を考慮した施工ステップ

今後の検討課題とスケジュール

《今後のスケジュール》



検討フロー



基本コンセプトと必要な機能

目指す姿

世界へつながる“さっぽろ”の新たな顔づくり

道都札幌の玄関口にふさわしい空間形成と高次都市機能・交通結節機能の強化

4つの基本コンセプト

- 街並み形成**
道都札幌の玄関口にふさわしい新たなシンボル空間の創出
- 基盤整備**
多様な交流を支えにぎわいを形成する交通結節点機能の充実とバリアフリー化の推進
- 機能集積**
北海道、札幌の国際競争力をけん引する都市機能の集積
- 環境配慮・防災**
環境にやさしく災害に強い最先端の都心モデルの実現

地域の課題と将来動向

- バス乗降場の分散
- 冬期の厳しいバス待ち環境
- 駅周辺地域の交通混雑
- タクシーの利便性低下
- 災害時の交通と受入空間の確保
- 2030年度末北海道新幹線の札幌延伸
- 都心アクセス道路の整備
- 2030年冬季オリンピック招致

整備方針

世界とのゲートウェイ・札幌

『北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備』

～全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支える～

- 北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備
- 多様なモビリティとの連携
- 観光機能の強化
- 防災機能の強化

波及効果：高速道路と連携した全道各地へインバウンド観光等の新たな人流を創出

当検討会では事業計画とりまとめに向けて、整備方針を具現化するために必要な『要素の具体化』を図る

具体化する要素

- 魅力的な駅前空間の創出
- 交通拠点形成とモビリティネットワーク
- 情報空間との連携やイノベーションの受容
- 持続可能性とまちへの貢献
- 駅前防災拠点 7

第3回検討会の主な指摘と対応

議題	委員からの主な意見	対応	資料
(1) 札幌駅周辺全体での機能検討の方向性	<ul style="list-style-type: none"> バス乗降機能を札幌駅交通ターミナルに集約するにあたっては、アクセスする経路に対する交通混雑を緩和するため、自動車交通に対して面的な検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> バス乗降機能を札幌駅交通ターミナルに集約するにあたって、集約するバス経路や周辺の開発等の面的な条件を考慮し将来の交通需要を検討。 	資料2-1 P7
	<ul style="list-style-type: none"> 自転車や歩行者等との交錯も考慮し、駅周辺全体の交通モードの動線を踏まえ検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺全体の交通モードの動線を踏まえ、歩行者と他交通モードが交錯しないよう考慮し、円滑な歩行者ネットワークを検討。 	資料2-1 P9
	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者動線については、新幹線改札が4階レベルとなり、人流の重心が高くなることが想定されるため、2階レベルで東西動線として周辺の再開発とも連携した面的な回遊性や創成川通上部空間の活用等についても検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺街区も含めた回遊性向上のため、主要な歩行者動線を2階レベルに計画して、創成川通を横断するデッキ整備の検討を推進。 	資料2-1 P9
	<ul style="list-style-type: none"> 利用者目線の検討にあたっては、高齢者や障害者にも配慮すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい円滑な移動動線を計画し、バリアフリーにも配慮した分かりやすい案内を検討。 	資料2-1 P10
(2) その他(今後の進め方、全般について等)	<ul style="list-style-type: none"> 新たなモビリティの受容についても想定しておくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌駅周辺地域全体で新たなモビリティの受容について検討。 	資料2-1 P8
	<ul style="list-style-type: none"> 交通系の購買・決済の観点から、ETCをはじめとした通信インフラの実装についても想定しておくことが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通系の購買・決済の観点から、通信インフラの実装を想定し、実証例を踏まえ今後の検討に活用。 	資料2-1 P8
	<ul style="list-style-type: none"> バスターミナルの規模については、再開発の建築上の制約がある中で配置検討がなされたものの、冬期の渋滞時や待機も含めて、将来供用時の路線集約・運用について、バス事業者の意見を参考に今後検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来供用時の路線集約・運用について、バス事業者や関係機関を交えた新たなバスターミナル整備に向けた検討体制を検討。 	資料2-1 P6
	<ul style="list-style-type: none"> 総合的な案内については、利用者目線でわかりやすいか等、開業段階で改めてチェックすることが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通ターミナル全体で統一的な案内サイン計画を検討し、新たなバスターミナル整備に向けた検討体制の中で開業段階時の確認方法について検討。 	資料2-1 P11 資料2-1 P6
	<ul style="list-style-type: none"> 様々な機能の空間配置を行うにあたっては、限られた空間であることを踏まえ、バスターミナルの交通機能を阻害することがないように検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> バスターミナルの交通機能を阻害しないよう、新幹線・在来線・地下鉄の乗換動線を考慮して、2階にバス待合空間の配置を検討。 	資料2-2 P4
	<ul style="list-style-type: none"> 札幌駅周辺の再開発事業が進む中で、従来のエリアマネジメントにモビリティ面も加えて、全体をマネジメントする体制の検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌駅周辺の再開発事業が進む中で、従来のエリアマネジメントにモビリティ面も加えて、全体をマネジメントする仕組みを検討。 	資料2-1 P18

具体化する要素と検討項目

具体化する要素と必要な検討項目

具体化する
要素

1 魅力的な駅前空間の
創出

2 交通拠点形成とモビ
リティネットワーク

3 情報空間との連携や
イノベーションの受容

4 持続可能性とまちへ
の貢献

5 駅前防災拠点

第3回検討会検討項目

札幌駅周辺全体での機能検討の方向性

1 魅力的な駅前空間の創出

- 1-1 札幌駅周辺地区のまちづくり計画
- 1-2 道都札幌の顔のイメージ
- 1-3 道都札幌の顔としての情報発信のあり方
- 1-4 環境首都・札幌

2 交通拠点形成とモビリティネットワーク

- 2-1 札幌駅周辺の交通円滑化の考え方
- 2-2 再開発とあわせた交通マネジメント
- 2-3 バスターミナルの集約
- 2-4 バスの経路の検討
- 2-5 国道5号創成川通との接続

3 情報空間との連携やイノベーションの受容

- 3-1 多様なモビリティの活用イメージ
- 3-2 既存のモビリティの活用
- 3-3 モビリティネットワーク
- 3-4 MaaSによる円滑な乗換えの実現

4 持続可能性とまちへの貢献

- 4-1 駅周辺の回遊性の考え方
- 4-2 シームレスな移動を実現
- 4-3 ユニバーサルデザインに対応した乗換え動線の設定
- 4-4 待合空間の検討

5 駅前防災拠点

- 5-1 帰宅困難者受入れ空間と情報発信機能・手法の検討
- 5-2 J Rや航空機の代替となるバス輸送の検討

第4回検討会検討項目

札幌駅交通ターミナルにおける施設計画・機能の検討

資料2-1 札幌駅周辺に関する考え方

1-1 魅力的な駅前空間の創出

- 1) 札幌駅周辺地区のまちづくり計画【再掲】
- 2) ランドマークとなるような空間形成
- 3) 緑ゆたかな空間形成

1-3 情報空間との連携やイノベーションの受容

- 1) 情報空間との連携によるシームレス化【第3回検討会資料】

1-4 持続可能性とまちへの貢献

- 1) 歩行者動線等の検討
- 2) 分かりやすい乗換動線の検討

1-5 駅前防災拠点

- 1) 平常時・災害の空間の使い方
- 2) 災害時の組織間連携

1-2 交通拠点形成とモビリティネットワーク

- 1) バスターミナルの集約【再掲】
- 2) 集約に向けた検討体制
- 3) 札幌駅周辺の交通影響検討
- 4) モビリティ・ネットワークの検討

1-6 エリアマネジメントの推進

資料2-2 新しいバスターミナルに関する考え方

- 2-1 新しいバスターミナルの整備コンセプト
- 2-2 分かりやすく快適なバスターミナルの整備
- 2-3 利便性の高い空間・機能の提供
- 2-4 食と観光を担う「生産空間」を支える機能の整備
- 2-5 国道5号創成川通との円滑な接続【再掲】
- 2-6 情報空間との連携によるシームレス化（一体性をもったサービス提供）
- 2-7 駅前防災拠点としての利活用